

金沢市立額中学校

令和元年度 学力向上の取組（3学期）

1 研究主題 「自ら学び、豊かな人間関係を育む学習活動の充実」～学びの意欲を引き出す教育活動の工夫～

2 現状・課題(評価問題の結果、令和元年度 学力分析シート等から)

(1) 児童生徒の現状・課題

- ・2年県学力評価問題では、国・数ともに市平均正答率を下回っている。長文の問題を読み取る力が弱く、適切な解答を導き出すことが難しい。そのため無解答のポイントが市の平均を上回っていることにも課題が見られる。
- ・2年県学力評価問題では、H30年度（1年時）の中1学習到達度問題の市との比較では、本校の正答率は、国語が0.1ポイントから2.2ポイント下がり、市平均正答率に比べ2.3ポイント低い。数学は-4.2ポイントから0.4ポイント下がり、市平均正答率に比べ4.6ポイント低くなった。
- ・国語¹三の平均正答率が1.0%で市平均正答率を約2.1ポイント下回っており、記述の問題でどんなことを書くべきかについての理解不足、使用する語句についての説明不足などの課題が見られる。
- ・数学¹（5）の正答率が47.2%で市平均正答率を約10ポイント下回っており、方程式の解がその式を満たすXの値であるということが理解できておらず、方程式と用語との関連付けに課題が見られる。

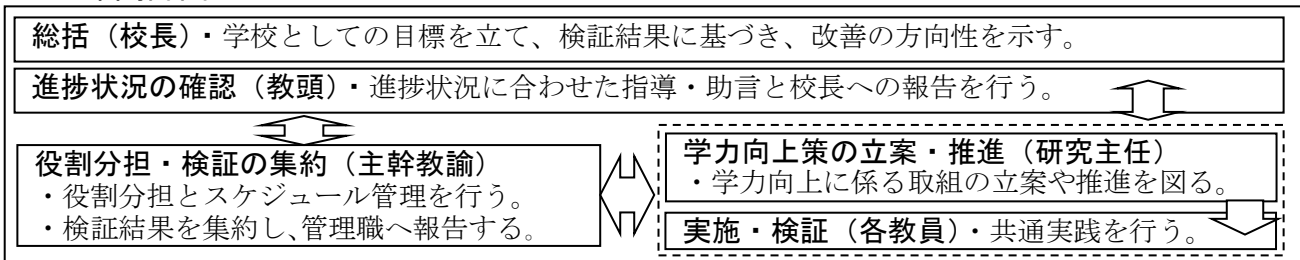
(2) 指導の現状・課題

- ・12月の校内のアンケートでは、「生徒がわかりやすい授業になるように課題・教材・まとめ・板書・発問などを工夫している」の問いに対し、教員は85%であるが、生徒は「話し合いに積極的に活動している」「話し合いで自分の考えを深める、広められた」の平均が77%であり大きな差が見られる。教科間や学年、教員間の取組差や生徒への意識のさせ方の差などが考えられるため取組を考えていきたい。

3 重点的に行う取組と検証 ※2学期と変更した箇所は「MSゴシック体」にする

		授業で行う取組		授業以外で行う取組	
		取組①	取組②	取組①	取組②
重点的に行う取組		ペアやグループ活動、近くの生徒同士で相談など、生徒の間で話し合う活動では、考えさせる時間をさらに確保していく。	「まとめ」を行い、穴埋めやキーワードを使ったまとめを書いたり、生徒自身の言葉や地図、模式図をなどでも説明できるよう指導する。	基礎的な学習内容の定着のために、定期テスト前に基本プリント(学年共通)に取り組ませる。 学力調査の問題を定期テストに取り入れる。	家庭学習のなかで、基礎的な知識の定着を図るための学習に取り組ませる。
	指導の状況	方法 実践した授業は週案にGを書き込む。 指標 週案への記入100%	方法 週案にまとめの内容を記入する。2学期より内容の向上を目指す。 指標 週案への実施100%	方法 テスト1週間前から、家庭学習で基礎的な内容のプリントに取り組ませる。 指標 実施100%	方法 自学ノートでの学習内容を指定し、継続的な家庭学習に取り組ませる。 指標 毎日点検
検証の方法と指標	児童生徒の状況	方法 最終授業で生徒にアンケートをし、達成度を確認する。 指標 授業での取り入れ70%以上	方法 最終授業で生徒にアンケートをし、達成度を確認する。 指標 授業での取り入れ70%以上	方法 基本プリントの達成度を確認する 指標 80%以上の理解	方法 家庭学習が行われていない時は学校でさせる。 指標 課題提出90%

4 年間計画



月	PDCA	授業で行う取組	研究授業	授業以外で行う取組
1 月	計画	全教員 が話し合い活動を取り入れた授業を行うことと、まとめを意識した週案について100%の達成率と質・回数の向上を目指す。	石川教諭 近藤教諭 吉村教諭 竹内教諭 畑 教諭	研究主任 が学力向上策を立案する。 全教員 が自学ノート点検、指導の取り組みを行う。
2 月	改善 実践	主幹教諭 が週案での指導の状況を集約し、教科間差、教員間差を確認する。 研究主任 が指導の状況を確認し、 教頭 とともに改善策を提案する。 全教員 が課題とまとめの整合性ある授業、ペア・グループ活動について授業で取り組む。	岡嶋教諭 八田教諭 宮坂教諭 松尾教諭 中田教諭 小山教諭	学年主任 が基本プリントの生徒の到達度を確認する。 全教員 が基本プリントで80%以上の理解に満たない生徒へ補充を行う。 全教員 が自学ノートでの学習の内容を把握し細やかに指導する。 全教員 がテスト前の基本プリントでの学習の取り組みを行う。
3 月	検証	主幹教諭 が指導の状況及び児童の状況についての達成状況をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学年末テストや過去の評価問題等、各学校で、学力の定着状況を確認する機会を設定し、「学力向上の取組（3学期）」を検証する。</div> 校長・教頭・主幹教諭・研究主任・学年主任・教科代表 が今年度の成果と課題を整理する。 校長・教頭・主幹教諭・研究主任 が来年度の方向性を示す。		全教員 が自学ノートでの学習の内容を把握し細やかに指導する。学年末・学年始めの宿題について確認する。休業中の基礎的学力補充計画を確認する。 校長・教頭・主幹教諭・研究主任・学年主任・教科代表 が今年度の成果と課題を整理する。 校長・教頭・主幹教諭・研究主任 が来年度の方向性を示す。